

## ⑫ 実用新案公報(Y2)

昭61-14437

⑤ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公告 昭和61年(1986)5月6日

B 32 B 27/10

B 65 D 1/28

1/34

7112-4F

6727-3E

6727-3E

(全2頁)

⑮ 考案の名称 紙製トレイ

⑯ 実 願 昭55-63823

⑰ 公 開 昭56-165626

⑱ 出 願 昭55(1980)5月12日

⑲ 昭56(1981)12月8日

⑲ 考 案 者 加 古 正 尚 横浜市緑区池辺町3652

⑳ 出 願 人 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1

㉑ 代 理 人 弁理士 中川 周吉

審 査 官 西 村 和 美

1

2

## ⑮ 実用新案登録請求の範囲

(1) プラスチック製フィルムの上に耐油紙を積層し、裏面に耐水性を有する部材を積層してなる原紙を用い、プレス成形或いは貼着により構成したことを特徴とした紙製トレイ。

(2) 耐水性を有する部材、耐水加工した厚紙或いは厚紙とプラスチック層とを夫々順に積層して構成したことを特徴とした実用新案登録請求の範囲第1項記載の紙製トレイ。

## 考案の詳細な説明

本考案は肉、魚等の食品を収納する紙製トレイに係り、更に詳しくはポリエチレン、ポリプロピレン等のプラスチックフィルムの表裏面夫々に紙を積層してなる原紙を用いてプレス成形或は貼着構成したことを特徴とした紙製トレイに関するものである。

従来量販店等で利用されている肉、魚等を収納するトレイは殆んどが発泡ポリスチレンを始めとするプラスチック製トレイであり、使用後の廃棄処理、ドリツプによる外観等の点から問題があつた。

又最近になってこの欠点を改善する為にポリオレフィン繊維等の合成バルブと木材バルブとを混抄した原紙でトレイを成形したものを一部に使用されているが、このものは例えば肉を入れてスト

本願に係るトレイは従来の之等の欠点を根本的に改善した全く新規な技術に関するものである。

図により本考案に係るトレイを説明すると、第1図に於けるAは本考案のトレイであつて、第2図に示す如き原紙を熱プレスすることによつて構成されている。

即ち本願のトレイAに使用される原紙は第2図にその拡大断面図を示す如く、ポリエチレン、ポリプロピレン等のプラスチックフィルム1の表面に薄目の耐油紙2(住友スリーエム社製のスコツチバン、旭硝子のアサヒガード等を加工した紙)を一体的に積層し、更にフィルム1の裏面には強

サイブ等耐水加工による厚紙3を一体的に積層することによつて構成され、かつトレイAの内面に耐油紙2が来るように成形されている。

上記実施例に於ける原紙はフィルム1の裏面に耐水加工厚紙3を積層したが、第3図に示す如く、フィルム1の裏面に一般の厚紙4とポリプロピレンフィルム等のプラスチック層5とを順に積層して構成することも可能であり、これ等の選択は経済性と性能とを考慮することによつて適宜決定することが出来る。

本考案に係るトレイは上述の如く、壁面の中間層にプラスチックフィルムが積層されているので、収納した肉のドリツプ等をこれによつて遮断してトレイ全体が吸湿して柔らかくなることを防止することが出来、かつ裏面は厚紙が積層されているのでトレイ全体の腰が強く、丈夫にして持ち易く取扱いに便利であり、更にこの厚紙に美しい印

3

4

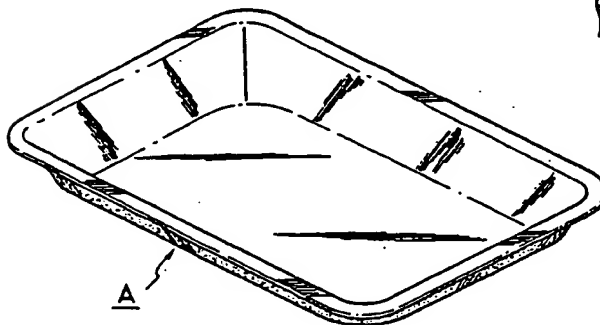
刷を容易に施すことが出来、又トレイの構成に当  
つても熱プレス方式のみならず、原紙の両面が紙  
で構成されている為に四隅を接着剤で貼着して深  
さの大きいトレイを構成することも出来、しかも  
使用後は焼却が可能であると共に全体として極め  
て体裁が良い等の特徴を有するものである。

図面の簡単な説明

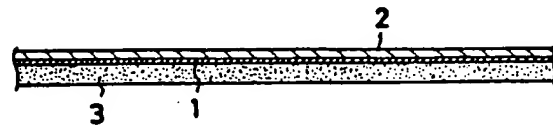
第1図はトレイの斜視図、第2図はその一部断  
面拡大図、第3図は他例の説明図である。

A：トレイ、1：フィルム、2：耐油性、3、  
4：厚紙、5：プラスチック層。

第1図



第2図



第3図

